

【タイトル】

ペンギンレスキュー

【プレイ人数】

3～6人

【プレイ時間】

15分

【対象年齢】

8歳以上

ゲームデザイン

Supported by はっくる (久保田) (@hackle_bgg)

【ゲーム概要】

マイバック持参や節水など日常のちょっとした行動が地球温暖化の抑制(ゲーム内ではペンギンを救うこと)に繋がっていることを体験できる競りゲームです。レスキューに参加しないとペンギンを助けることは出来ませんが、参加してばかりでも行動カードがなくなってしまいます。みんなでたくさんペンギンを助けましょう！



【ゲームに使用するもの】

- ・ 行動カード(裏面：ペンギン)：49枚(1～7まで各7枚)
- ・ ペンギンカード：15枚(4～10までを各2枚と13を1枚)
- ・ レスキュートークン：6個

【遊び方】

<ゲームの準備>

1. レスキュートークンを一人一つずつ配ります
2. 行動カードをシャッフルして一人3枚ずつ配ります
3. 残りの行動カードは山札としてテーブルの中央に置きます
4. ペンギンカードは4～10の計14枚をシャッフルし、裏向きのまま13の上に重ねて山札とします ※13が一番下になります

<ゲームプレイの流れ>

1. ペンギンカードを山札から1枚めくります
2. プレイヤーはレスキューに参加するかどうかを決め、参加する場合にはレスキュートークンを握って(不参加の場合には握らず)手を前に出します
3. 全員が手を前に出したら、一斉にオープン(手をひらく)します
4. レスキューに参加した(レスキュートークンを握った)プレイヤーは「4-1」、不参加の(レスキュートークンを握らなかった)プレイヤーは「4-2」を行います

4-1-1. 参加プレイヤーは手札の行動カードの中から0～3枚選び、裏面のまま手前に出します。

※他のプレイヤーの出した枚数を見て内容を変更しても構いません

※0枚(カードを出さないで競りを回避)の場合にはカードは消費しません

4-1-2. 参加プレイヤー全員が行動カードを前に出したら、一斉にオープン(カードを表面に)します。出した行動カードの数字を合計し、一番合計が大きいプレイヤーがペンギンカードを獲得します。獲得できなかったプレイヤーは行動カードを裏面(ペンギン)のまま獲得します。

※ペンギンカードを獲得したプレイヤーの出した行動カードは捨て札とします

※合計が大きいプレイヤーが複数いた(同点の場合)、行動カードは手札に戻し、誰もペンギンカードを獲得しないまま「5」に進みます

(次回は2枚のペンギンカードが獲得の対象となります)

※参加プレイヤーが1名だけだった場合には、行動カードを出さずにペンギンカードを獲得します

4-2. 不参加プレイヤーは行動カードを山札から1枚引きます

5. 1に戻り、ペンギンカードがなくなるまで15回繰り返します。

※行動カードがなくなった場合は捨て札をシャッフルして新たな山札としてください。

<ゲームの終了と勝敗>

15回競りを行ったらゲーム終了となります。

獲得したペンギンカードと競りに負けて裏面のまま手元に残した行動カードのペンギンの数を数えて、一番多くのペンギンをレスキュー出来たプレイヤーが勝利します。

もしペンギンが同数だった場合は勝利を分かち合います。

<今後の改修ポイント>

1や2の行動カードがただの外れにならないように、組み合わせることで数字が大きくなるような使い切りカードを一人1枚ずつ配布する6人プレイを前提とする場合は行動カードが56枚(1~7を1枚ずつ追加)の方が良さそう。

レスキュートークンでの参加確認がテンポを落としているため、全てを行動カードに落とし込む。

同点時の処理が盛り下がりに繋がってしまうため、スタートプレイヤー的な要素を持たせる。